

No.135

# そとくえん

昭和51年12月15日創刊

宮城県登米農業改良普及センター  
 ～人と技術が織りなす活力ある登米農業～

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5  
 TEL (代)0220-22-6111 FAX 0220-22-7522  
 E-mail : tmnokai@pref.miyagi.lg.jp  
 URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin/>



ラジコンボートでの除草剤散布



えだまめコンバインでの収穫



ポテトハーベスターでのばれいしょ収穫



ドローンでの水稲防除

## 「備えあれば」のことわざに思うこと

農業普及指導専門監 鈴木 宏

「備え」の重要性については、古来よりことわざなどで伝えられてきました。万が一に備えることで、被害を回避したり、あるいは最低限に抑えたり、そのことで営農や生活が継続できるなど、大きな支えになっています。

近年頻発している気象災害への備えは、気象との関わりが大きい農業を営むうえでは欠かせないものとなっています。今年も国内各地で想定を超える大雨などにより、人的な被害や農作物・農業施設などへの被害が発生しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、経済活動が停滞し、農産物の生産や販売にも大きな影響が出ました。特に主食の米については、外食などの消費が激減し、需給バランスの崩れから令和3年産米価格が前年を大きく下回る事態となり

ました。このようなことから、万が一に対する「備え」の重要性が改めて認識されることとなりました。

一方、近年の少子高齢化の動向から、将来的に人口減少が見込まれ、それに伴い農業の労働人口も減少することが想定されており、このことは長期的視点でのリスクと言えます。省力化技術の導入や生産方式の見直しなど、将来を見越したリスク回避の対応を、万が一への対応と合わせて「準備」しておくことも必要と考えます。

セーフティネットの活用や、省力化技術などへの取組支援などの制度を活用し、短期的・長期的な視点で「備え」について考え、持続的に農業経営に取り組める環境整備を進めていきたいと思います。

## 重点活動の紹介

### No.1 地域ぐるみで取り組む新規就農者の確保・育成

新規就農者の確保・育成は喫緊の課題であることから、関係機関・関係団体と連携して確保・育成のための支援体制を整備し、円滑な定着に向けた支援を行っています。

#### ○新規就農者の支援

新規就農者の熟度に合わせて、個人毎に技術力や経営力の向上を支援しています。また、集合研修として「みやぎ農業未来塾」を開催し、新規就農者に共通する課題解決のため、資金管理を見える化する資金繰り計画書作成等の研修会を開催しています。

#### ○認定新規農業者の支援

認定を受けた新規就農者に対し、関係機関と連携した登米市サポート巡回や登米農業マイスターによる個別指導などを活用し、技術力や経営力の向上を支援しています。

#### ○新規就農を希望する就農予定者への支援

関係機関と連携し、定期開催されている就農相談会において、スムーズな就農につながるよう、栽培に関する個別相談や就農計画の作成等を支援しています。



新規就農者向け研修会

### No.2 登米地域園芸重点品目の生産振興

みやぎ園芸振興戦略プランの「登米圏域戦略プラン」に掲げる重点振興品目の振興と安定生産を図るため、関係機関・関係団体と連携し技術支援などを行っています。

#### ○加工用ばれいしょの作付拡大支援

JAみやぎ登米の「登米ぼてと組合」を対象に、加工用ばれいしょの栽培技術向上に向けた研修会の開催や機械利用や集荷などの効率化に向けた検討の支援を行っています。

#### ○新品種いちごの普及定着支援

「にこにこベリー」などの宮城県育成新品種の栽培技術向上及び環境制御技術の導入について、農業・園芸総合研究所と連携して検討会を開催するなど、技術支援を行っています。

#### ○ストックの産地育成支援

ストックの安定出荷に向け、JAとの連携により土壌分析・診断や講習会・出荷目揃え会の開催、技術情報提供など産地の育成支援を行っています。

#### ○りんごの新規栽培技術導入支援

JAみやぎ登米りんご生産部会を対象に、りんごの新しい仕立て方であるジョイント栽培について、技術支援を行っています。



「にこにこベリー」展示ほに設置した環境モニター装置

### No.3 地域の営農計画の達成や核となる担い手の育成支援

地域の合意形成に基づき、農地中間管理事業を活用した担い手への農地利用集積や集約化による持続的な生産体制づくりを支援しています。

#### ○地域ビジョンの検討支援

地域において、ほ場整備事業などを活用した将来構想の検討・作成を支援しています。

今年度は、迫町古宿地区や中田町上沼桜場地区で、地域営農構想を作成する検討会などが開催されています。古宿地区では、集落の話し合いにあたり、ワークショップの手法を取り入れた意見集約を支援しています。

#### ○促進計画の検討支援

ほ場整備事業の採択にあたり、具体的な営農計画を作成する活動を支援しています。

今年度は、東町米川地区や南方町沼崎・大平地区で、加工用ばれいしょの試作など、高収益作物の選定などを支援しています。

#### ○農地中間管理事業の活用による経営力強化支援

農地中間管理事業の地域コーディネーターと連携しながら、担い手への集積・集約を目指している地域の活動を支援しています。



地域営農構想の作成に向けたワークショップ

農地を貸したい！農地を借りたい！そんなときは農地中間管理事業を活用しましょう！

## 令和3年度 新しく認定された農業士を紹介します!

青年農業士 <sup>あべ</sup>阿部 <sup>よしみつ</sup>善光さん (南方町)

○経営部門 水稻

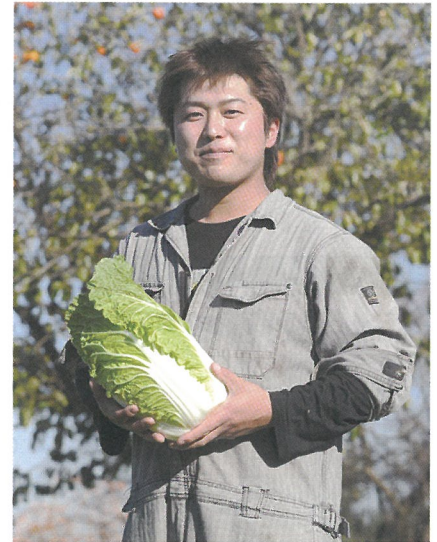
南方町の阿部善光さんは、稲作を中心とした経営を行う有限会社板倉農産の一員で、水稻や野菜の栽培部門を担当しています。

水稻は、消費者ニーズに合わせ8品種作付けし、消費者などへの直接販売、自社ホームページやブログなどによるネット販売にも取り組んでいます。

野菜は、トウモロコシやえだまめ、キャベツなどを主体に30品目栽培し、直売所やスーパーなどへ届けています。

農業生産活動以外では、消費者を招いての農業体験や交流会を実施し、農業への理解を深める活動にも取り組んでいます。

登米市4Hクラブや宮城県農村青少年クラブ連絡協議会の会長を務め、若手生産者のリーダーとして活躍されてきました。また、就農前の海外農業研修(アメリカ)で得た見聞や前例にとらわれない発想で経営を行うなど、アクティブな若き担い手として活躍が期待されます。



## 登米市の元気ファーマー



<sup>あさの</sup>浅野 <sup>ゆう</sup>湧さん (米山町, 水稻・露地野菜)

米山町の浅野湧さんは、家族とともに水稻を栽培しています。小さい頃から家の作業を手伝い、農業を継ぐため宮城県農業大学校水田経営学部で学び、平成31年4月に就農しました。

水稻栽培では大学校で学んだことを活かしながら、さらに現場で技術に磨きをかけようと、日々努力を重ねています。また、将来の新規作目の導入に向け、様々な露地野菜の栽培に取り組んでいます。

「農業は人との繋がりが大切」という考えのもと、地域活動への積極的な参加や、就農当初から登米市4Hクラブに加入して耕作放棄地復活プロジェクトなど、様々な活動に取り組んでいます。

今後は、「技術を高めるだけでなく、地域の担い手となれるよう人との繋がりを深めながら頑張っていきたい。」と意気込みを語ってくれました。

## SDGs と米づくり

SDGsとは、2015年9月に国連サミットで採択され、2030年までに世界中の人々が平等で、安全に生きることのできる社会を作るために掲げた17の持続可能な開発目標のことです。農業分野に関しては、食料の安定供給や未来に向けた環境保全、雇用の促進と維持などの面に関わっています。SDGsで達成を目指す169のターゲットの中にも「漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保」することが掲げられています。

(ターゲット2.4)

登米管内では約7,000haで環境保全米の作付けを行っており、これから春にかけて、土づくりに勤しむ方も多いと思います。このように土づくりを行って環境に配慮した農業を実践することが、SDGsの推進に繋がっています。「実は身近にあるSDGs」について、調べたり考えたりしてみませんか。



登米市に広がる田園風景

高病原性鳥インフルエンザの発生を防ぐため、鶏舎への野生動物の侵入防止と消毒を徹底しましょう。

## 受賞おめでとうございます

### ◆◆令和3年度宮城県農林産物品評会・令和3年度宮城県花き品評会◆◆

令和3年10月23日（土）～24日（日）に、せんだい農業園芸センター研修棟において宮城県農林産物品評会と宮城県花き品評会が開催されました。

登米管内からは40点（農産物25点、花き15点）出品され、以下の6点が入賞しました。入賞された皆様、おめでとうございます。

また、品評会に御出品いただきました皆様、御協力ありがとうございました。

部門	品目名	品種名	順位	地域	氏名(敬称略)	備考
水稲	うるち玄米	ひとめぼれ	2席	米山	農事組合法人 六軒農産	宮城県知事賞(2等) 農林水産省農産局長賞
葉茎菜類	ブロッコリー	ピクセル	3席	豊里	志賀 清	宮城県知事賞(2等)
果菜類	トマト	りんか409	2席	豊里	有限会社 三菜寿	宮城県知事賞(2等) 宮城県園芸協会会長理事長賞
花き	シクラメン	クレヨンバイオレット	金賞 2席	迫	若葉園芸	農林水産省農産局長賞
花き	スプレーぎく	セイメリタ	金賞	中田	猪俣 博之	
花き	スプレーぎく	ダンテイエロー	銀賞	中田	佐藤 秀夫	

## 「米価下落に伴う営農相談窓口」を設置しました!

当地域の水稲主力品種である「ひとめぼれ（60kg、1等米）」のJAみやぎ登米及びJA新みやぎ（南三陸地区）の概算金は9,100円になりました。米価下落を踏まえて、営農継続などに不安を抱いている農業者の方の各種相談に対応する相談窓口を、下記により設置しましたのでお知らせします。

農業者の皆様におかれましては、今後の価格変動に備えて、米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）や農業経営収入保険などセーフティネットへの加入について検討願います。また、主食用米の需要減少が続く状況下においては、主食用米に代えて大豆・麦、園芸作物、飼料作物などを作付けして水田のフル活用を進め、国の経営所得安定対策などの施策を有効に活用することにより農業所得を確保しましょう。

普及センターは、主食用米からの転換品目の選定や、新たな栽培技術の導入などを支援し、競争力の高い登米圏域の水田農業の実現を進めてまいります。

### 米価下落に伴う営農相談窓口について

令和3年産米の概算金下落に伴う「各種支援策」や「つなぎ資金」の紹介、所得確保に向けた栽培品目選定、低コスト技術の導入など、営農継続に向けた相談に対応いたします。

- 受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで（土日、祝日、年末年始を除く）
- 電話番号：0220-22-8603

（東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部地域農業班）

トラクターを運転するときは  
シートベルトを着用しましょう!!

（乗用型トラクター等における機械からの転落・転倒が増えています。）